

テーマ

帰省と大切な人のための行動

発行日

8月3日

発行著(氏名)

王子第二
小学校
第3学年
児童

I このテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

ぼくは、毎年夏休みに祖母の家に行きます。東京都内なので行きませんが今年、コロナ感染拡大防止のため、ふるさとに帰る人と自しゃくする人の気もちがいろいろ出る理由を知りたくて、この記事を読みました。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

①について お盆の移動をしない人が全体の八わり近くには、あまりあきらめた人のほとんどが自しゃくを決めるまでにかたより悩み、決定したところについて詳しく感じ、気もちを落としています。

②について 日本人にとってお盆は特別な行事だけれども、コロナの感染がこわいので実際に移動しないかわりにおはかまわりを代行ビジネスやVRで行ったり、アンテナショップで面白い物を買ったりして、ふるさとに帰る気持ちを味わう新しいやり方を考える人がたくさんいました。

①②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。 帰省自体にさんせいと反対のぎろんがおり、自しゃくした人も心をいたためたり、悩んだり、新しいスタイルで何とかしようとしています。ぼくは、どちらの方がより正しいのかお盆の意味をいまして、考えたとき、考えたりして、みることにしました。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

お盆はあの世からもどってくる祖先のためらしいけど、大家族をわにかえして供養する行事で、その時期が限られるために移動が集中するので、コロナの感染拡大が心配される今年、自しゃくムードになりました。実際にぼくの友だち五人に聞いても、全員が毎年していた帰省を今年もしたいと言っていました。ぼくは帰省をして二年前に比べて、大好きな祖父の供養をしますが、父は祖母への感染拡大を心配して、まず帰省して直接供養する人は、先祖や故人のためらしいと思ったり、自しゃくした人もまたコロナ感染から大切な人を守る思いや、があり、どちらが正しいかは決められるものではなく、それぞれの立場の人も大切なため、のために、思ったり、形はさまざまでも、みんなが記事について考えることで、思いやりの形はさまざまでも、みんながたれかを感じて、行動していることが分かるよさかけとなりました。